

123 天神の元禄の石造双体道祖神



指 定 市有形文化財 昭和61年 9 月10日
 所在地 協 和
 所有者 天 神 区



元禄9年（1696）当地桜井氏により造立されたことが背部に刻銘されている。在銘の双体道祖神で元禄のものは県下でも数基あるのみである。観音・勢至の両菩薩を主尊としているが合掌の位置が低く神道の叉手さしゅとも思われるが、菩薩型頭髪、僧衣合掌等から初期の仏教系道祖神である。